

個人山行

砂蘭部岳

984m

平成25年10月5日(土)

「砂蘭部岳」の由来は、遊楽部川の川尻に有る山、何ともつまらない名前の付け方

「収穫出来る物は」「紅葉は」と、いろいろな思いを胸に山行となる、総勢23名の大集団、カマを持ち、目はガラガラ血走った車内、近寄る熊も逃げ出すような空気、「この連中、すごく危険！」

かぶさった木やササを5台+1台の車が、かき分け造林小屋到着、

「カマ無用」



登山開始するが、熊よけの笛、「ピーピー・・・ピーピー」ササ・・・またササ、「ピーピーピー」、手こずる歩み、下界が、まるっきり見えず、どうにも会話が弾まない、8合目あたりに来ると、ようやく景色や色付いた木々が見えて頂上到着。

遠くに羊蹄山が雲の上に、海の上には奥尻島が見える、また目の前には、秋の市民登山会に使う、小鉢岳が見える、頂上は、展望は良いが、少々狭い、

秋は日没が早いので、昼食を20分で済ますとすぐ下山、

「この登山道は刈分道コースになっているが、歩きづらい！」かろうじて暗くなる前に下山完了。



伊達道の駅	6時30分	所要時間
登山口(造林小屋)	8時50分	
登山開始	9時10分	
頂上	13時20分	4時間10分
下山開始	13時48分	下り
登山口	16時28分	
伊達道の駅	19時40分	

砂蘭部岳は、山スキーや沢登りで登る人もいるが、夏道は、今後手を加えないと、廃道へ進みそう、今日は何の収穫も無し。「残！」

記録 小山内 芳廣



